

11月 行事予定

- 1日(火) 山陽小就学時健診(そら組)
3園交流会(ほし組)
- 2日(水) 熊山登山(そら組)
- 3日(木・祝日) 山の日
- 4日(金) 桜小就学時健診(そら組)
- 8日(火) お泊り保育ごっこ(ほし組)
- 10日(木)～11日(金)
お泊り保育(ほし組)
- 16日(水) おはなし会
- 18日(金) 誕生会
- 22日(火) 健脚活動④
- 23日(水・祝日) 勤労感謝の日
- 24日(木) 避難訓練
- 30日(水) 11月利用料等引落日




12月 行事予定

- 1日(木) 発表会予行
- 10日(土) 発表会
- 14日(水) おはなし会
- 19日(月) 避難訓練
- 23日(金) 誕生会
- 29日(木)～1/3(火) 休園
- 30日(金) 12月利用料引落日

※コロナウイルス感染症の拡大により、
行事が中止になる場合もあります。ご了承ください。



さくらんぼ通信

 さくらんぼ保育園 園だより No.262

令和4年11月1日(火)発行
さくらんぼ保育園 園だより
桜が丘東2-2-809
Tel 995-9071
Fax 995-9072

『多角的な視点で』

私はこの夏、ミニチュアライフ展に足を運びました。そこでは、日常生活の中で身近にある物が、違う形でさまざまな物に見立てられた不思議な世界が広がっていました。例えばポップコーンが雲になっていたり、バームクーヘンが虹になっていたりし、その一つひとつが、ミニチュアでつくられていてとてもかわいらしく表現されていました。同時に「なるほど」「その発想は思いつかなかった」と新鮮に感じました。

日々の保育の中でも同じような経験をしていることに気づきました。何色かある電車を並べたり持って走ったりしながら「こいのぼり」と言ったり、お腹が大きいたぬきの置物を「くまさん」と呼んだりする姿について「違うよ」と思ってしまいがちですが、「この子にはこうやって見えたんだ」「ここが似ているからかも」と考えるとその発想は豊かで、表現も奥行きが深くおもしろいです。

新しい何かに出会った時、大人は今までの経験や知識から固定概念にとらわれてしまいがちですが、子どもたちの発想は自由で可能性に満ちあふれています。大人の視点で子どもたちと関わることも必要ですが、子どもたちの発想やひらめきを受け止めたり気づいたりし、おもしろさを一緒に楽しみたいと思います。

竹内 朝香

10月

の行事報告『運動会』

天候にも恵まれ、無事運動会を開催することができました。友だちと助け合う姿、自分の力を信じてやってみようとする姿などを見てもらえたと思います。子どもたちの力はすごいですね。温かいご声援ありがとうございました。



さくらんぼ保育園を ちのちもいてみよ〜

『食器』

保育園で使用している食器は、全て陶器です。割れるので危険と思われませんが、丁寧に食器を扱う習慣や陶器の重量感や質感を大切にしたいと考えているため、陶器の食器を使用しています。

そして、食器の種類は1種類だけではありません。子どもたちの年齢に応じた大きさや形を選び、なんとスプーンやフォークなどの食具、全て合わせると17種類もあります。年に3回、食器のヒビ割れやフチが欠けていないか、破損した数と今ある食器の数は合っているかを点検し、子どもたちが安心して使用できるように確認しています。



つばやき・エピソード ほし組



園庭で友だちと手をつないで歩いている時のこと。
Aさん「見て、雲凄いいよ」
見てみると雲が空いっぱい広がっていました。
Bさん「雲も手つないでるね」
横に広がっている雲を見て、手をつないでいるということもこの表現にほっこりしました。

七らぐみ



あそびのルール確認や“みんなでこんなことしたい”という事に対してクラスやグループでの話し合いをし、意見を出したり相手の話を聞いたりする経験を積み重ねています。自分の意見が通らず気持ちがぶつかることも多かったのですが、最近は自分の意見を主張するだけでなく「確かに」「それもいいかも」とあそびや生活のなかで友だちの考えを聞きながら自分たちの生活作りができるようになっていきます。

はなぐみ



保育者と一緒にトイレに行く経験を重ねているうちに、少しずつ便座に座ることに慣れてきました。

保育者の誘いを待たずとも、ゆき組の友だちが生活の節目にトイレに行く姿を見て『自分も』ズボンやパンツを脱いでトイレに行こうとすることもあります。

ゆき組のこどもたちから、たくさんのいい刺激を受けて過ごしています。

ゆきぐみ



友だちと一緒に給食を食べながら、スプーンを持って食べることを「一緒」と確認したり「ピカピカ」と完食した皿を見せ合ったりするなど「みて」「私も」と、次々に声が聞こえます。友だちの姿が刺激になっているようです。

保育目標

一人ひとりのこどもを見つめ、集団生活を通して

○友だちを大切にし、共に育ち合う子

○生き生きとした元気な子

○自分で考え行動する子

を育てる

園生活は集団生活です。集団を構成しているのは一人ひとりのこどもたち。その中で、友だち同士で刺激し合いながら、育っていくものがたくさんあります。

今日のテーマ

生活面での育ち

ほしぐみ



保育者が活動の準備をしていると、「手伝うよ」と声が聞こえ、自分一人では難しいことも、友だちと一緒にならできるといふことにも気づき、「一緒に手伝って」と声をかけ合っています。どうすればいいかなとこどもたち自身で考え取り組むことが増えてきました。

つきぐみ



週末には布団カバーの取り外しをしています。大きいクラスの子が自分で行っている姿を見て、つき組も自分でやってみようとする姿が増えてきました。難しい所は友だちや保育者と一緒にしています。カバーを畳んだ後の表情は、達成感で溢れています。

にじぐみ



スプーンの三指持ちに取り組んでいます。「こう？」と保育者に持ち方を確認する子もおり、少しずつ意識ができています。持ち方に慣れてきた子から、あそびの中で箸の使用を始めました。友だちの姿を見て、「やってみよう」という意欲も芽生えます。焦らずじっくりじっくりと取り組み、習得に繋げていきたいです。